

アロプリノール錠「ケミファ」 Allopurinol

アロプリノール錠「ケミファ」をお飲みになる
患者さんにお伝えください

服薬指導ガイド



医師又は薬剤師のみなさまへ

アロプリノール錠「ケミファ」服用後の重大な副作用として、**スティーブンス・ジョンソン症候群、中毒性表皮壊死融解症等の皮膚症状、再生不良性貧血、汎血球減少等の血液障害、劇症肝炎等の肝機能障害**の発現に特に注意することが必要です。

これらの副作用の初期症状が認められた場合には、アロプリノール錠「ケミファ」の投与を中止し、すぐに医師又は薬剤師へ相談するよう、患者さんへご指導をお願いいたします。

本剤の実際の使用に際し、詳細は製品添付文書等をご参照ください。

アロプリノール錠をお飲みになる患者さんへ

このお薬は、高尿酸血症（血液中の尿酸が多くなる状態）や痛風（血液中の尿酸が多くなって起こる病気）の治療に用いられます。

体内で尿酸が作られるのを抑え、血液中の尿酸の量を低下させるお薬です。

お薬をお飲みになる前に…

- ・以前に薬を飲んで、発疹などが出たことがある。
- ・肝臓の病気がある、あるいは過去にかかったことがある。
- ・腎臓の病気がある。

などがあれば、**このお薬をお飲みになる前に**医師又は薬剤師にお伝えください。

飲み始めた後は…

このお薬を飲み始めた後、まれではありますが、重篤な副作用があらわれることがあります。裏面に示すような症状があらわれたら、**服用を中止し、すぐに医師又は薬剤師にご相談**ください。

次のような症状に気づいたときには、**服用を中止**し、すぐに**医師又は薬剤師にご相談**ください。

**発熱、発疹、のどの痛み、
全身がだるい、食欲がない**

また、この他にも、何か変だなと感じた場合には、すぐに医師又は薬剤師にご相談ください。

副作用の初期症状

アロプリノール錠を飲み始めた後、まれに見られる重篤な副作用の初期症状は以下の通りです。

皮膚の障害

発熱、発疹、のどの痛み、関節の痛みなどの感冒様症状、皮膚が斑状に赤くなる、眼が充血する、口の中があれするなどがあった場合。

血液の障害

発熱あるいはさむけがする、のどが痛い、全身がだるい、顔やまぶたのうらが白っぽい、出血しやすくなる（歯ぐきの出血、鼻血など）、青あざができる（押ししても色が消えない）、気分が悪くなりくらっとする（貧血の症状）などがあった場合。

肝臓の障害

食欲がない、全身がひどくだるい、皮膚や白目が黄色くなる、尿の色が濃く（茶色く）なった、体がかゆくなる、発疹が出た などがあった場合。